

# 横浜市立釜利谷南小学校

## 令和2年度 学力向上アクションプラン

### 1 中期学校経営方針

#### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
友達を思いやり、友達とひびき合う心	友達を思いやる心・友達とひびき合う心

#### (2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○夢や希望や目標をもち、それに向かって努力を重ね、認め合い、語り合える学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本の定着を図りながら、児童が友達とのコミュニケーションを大切にし、学習の楽しさを実感し、主体的に問題解決を進めていくような学習展開を図ります。</li> <li>・児童一人ひとりが自己肯定感・有用感をもち、楽しく学校生活を送りながら、夢や希望を語り合える学校にします。</li> <li>・学校中に挨拶や笑顔や歓声があふれ、豊かな心や、健やかな体を育成する学校にします。</li> <li>・家庭や地域の教育力を学校に取り込むことを通して、進んでまちとかかわり地域とともに生きる児童を育てます。</li> </ul>

#### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①校内重点研究等を通して、一人ひとりが自らのめあてをもち、進んで学び合う力を育成するような授業づくりに努める。
担当 学習評価委員会	②基礎基本の定着を図るために、少人数指導などの個に応じた支援や読書活動、家庭との連携を充実させていくようにする。

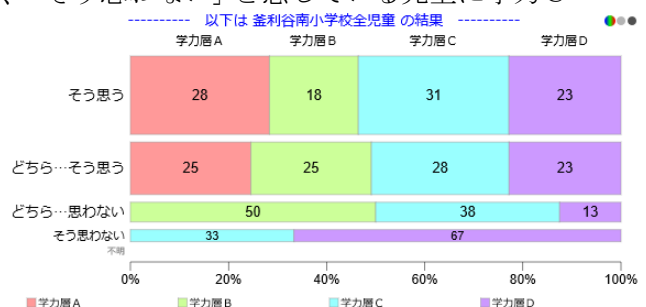
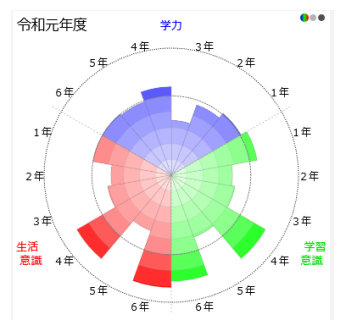
## 2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

### (1) 学力の概要と要因の分析

学力について高学年は、市の平均に近い値を示しているが、低学年については、市の平均を下回っている。これは、学習意識や生活意識とも関係しているように考える。学力を支えるこれらの意識をまず伸ばしていきながら、学力向上を図っていききたい。

### (2) 学習意識と学力層とのクロス集計による分析

「国語科の勉強をすれば、自分自身のふだんの生活や社会に出て役立つと思いますか。」などの学習意識の項目について、「そう思わない」と感じている児童に学力C・D層が多いことが分かる。他教科についても同じような傾向にある。このことより、単元計画や課題、授業展開を考えるにあたり、身近な材と結びつけた学習を意識し、児童が興味をもち、必要感や達成感を感じることができるよう工夫をしていくことが大切だと考える。また、基礎・基本については、「ニレの木タイム」を活用したり、家庭とも連携したりしながら、定着を図っていき、日々の学習の支えとしていきたい。



### 3 令和2年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の命を大切に する力</li> <li>・語彙を増やし、 自分の気持ちを 上手に伝える力</li> <li>・進んで人とふれ あう</li> </ul>	<p>学級や学年の友達と、いろいろな活動を する中で、仲良くすることの喜びや充実感 を体得し、自分や自分以外の人を大切にす ることができるようにしていく。様々な学 習を通して道徳的価値を理解したり体験 したりできるよう工夫していく。</p>	
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堪忍袋をしっか り持つ気持ちの コントロール</li> <li>・仲間と一緒に行 動できる</li> </ul>	<p>学級や学年の活動の中で、ペアやグル ープを意図的に取り入れていくことで、 自分の思いを自分の言葉で伝える基礎 を養っていく。また、相手の思いや考え も聞いていくことで、自分の考えを深 め、学習への意欲を高めていく。</p>	
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との考えの 違いに気付き、 受け入れる力</li> <li>・多様な考えを認 める力</li> <li>・粘り強く問題解 決に取り組む力</li> </ul>	<p>学級や学年の友達と活動する中で、友 達との考えの違いや多様な考えに気付 くことができるようにしていく。どの教 科においても、自分でめあてをもち、自 ら課題を解決していく力を身に付ける ことができるようにしていく。</p>	
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている人に 親切にできる</li> <li>・ルールを守り、 マナーの向上に 取り組む</li> </ul>	<p>学級や学年の友達との交流を通して、友 達との考えの違いに気付き、その考えを尊 重することができるようにしていく。グル ープ学習やあいさつ運動、縦割り活動等 を通して、人との関わり方を学び、挨拶やあ たたかい言葉遣いなど心の教育を行う。</p>	
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び合う楽しさ を知る力</li> <li>・互いを高め合う 学習</li> <li>・共感する力</li> <li>・身近な地域への 愛着と感謝の気 もち</li> </ul>	<p>学級や学年、様々な学年の友達と関わり 合う活動を通して、小さな成功を積み重 ね自己肯定感を高めるとともに、友達 のよさも認め、高め合えるようにしてい く。教科学習では、めあてをもって学習 に取り組み、自分の意見をもつと同時に 友達の意見にも耳を傾け、共感する力を 身に付けられるようにする。</p>	
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たてわり活動を 通しての共同性</li> <li>・自己肯定感・有 用感をもつ</li> <li>・互いのよさを認 め合い高め合う</li> </ul>	<p>学級や学年、様々な学年の友達と関わり 合う活動を通して、自分も相手も大切 にし、認め合えるようにしていく。どの教科 においても、目標をもって取り組み、自 分の考えを明確にし、表現する方法を深 めていく力を身につけられるようにする。</p>	
個別 支援 学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで人とふれ あう（挨拶）</li> <li>・語彙を増やし、 自分の気持ちを 伝える力</li> <li>・仲間と一緒に行 動できる</li> </ul>	<p>自立活動を通して、コミュニケーション 能力を高めていく。特に挨拶が進んで できるように意識づけしていく。小集団や交流 級での活動を通して、集団で行動するた めのルールを覚えたり、集団で活動するこ との楽しさを感じ取れるようにしていく。</p>	